



富士写真フィルムがアドビのCPSIを搭載した PostArt Pro for Luxsetterを開発

【1996年1月25日】

アドビ システムズ ジャパンは、富士写真フィルム株式会社（本社：東京都港区）が Adobe® Configurable PostScript®（ポストスクリプト）Interpreter Level 2を搭載した、ソニー株式会社の高解像度対応「PostArt Pro」をLuxsetter5600レコーダーに対応させて、今春より富士写真フィルムブランドで発売すると発表しました。同製品は1月31日より池袋で開催されるPAGE '96展、富士フィルムブースにおいて展示されます。

「PostArt Pro」は、ソニー株式会社のデジタル・メディア・サーバーNEWSに、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社、本社：米国カリフォルニア州）が開発したConfigurable PostScript Interpreter (CPSI)を搭載したものです。CPUにはMIPS社のR4400を使用し、R10000を搭載したNEWS-7000シリーズにも対応予定です。

Luxsetter5600レコーダーは富士写真フィルムが昨年3月に発売した、最大B2対応のイメージセッターです。解像度は、1,219DPI(ドット/インチ)から3,658DPI(4,867DPI：主走査方向のみ)で、描画方式には3本のレーザービームを使用した「マルチビーム方式」を採用し、毎秒10ミリ(1,219DPI時)という高速描画を実現します。

「PostArt Pro」は、出力装置のエンジンをドライブするためのフィルターと呼ばれるソフトウェアを搭載することにより、後からさまざまな出力装置に対応させることができる、オープンなシステムです。このオープンなシステムによって、CPSIは常に最新技術を駆使した出力機器への対応が可能になります。富士写真フィルムは、PostArt ProがひとつのRIPで校正用のカラープリンタとイメージセッターをドライブできるという点に注目し、今回自社エンジンを対応させました。